

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 総合防災訓練事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 災害対策係 電話番号：058-272-1111(内2841)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,341 千円 (前年度予算額： 4,341 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,341	0	0	0	0	0	0	0	4,341
要求額	4,341	0	0	0	0	0	0	0	4,341
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

近年、自然災害が頻発化、激甚化、局地化するとともに、近い将来に南海トラフ地震や内陸型地震の発生も懸念されていることから、県では、大規模災害発生に備え、災害対応力を高めることを目的に、関係機関と連携し各種防災訓練を繰り返し実施している。

令和8年度は、引き続き広域災害を想定した訓練を市町村と連携して実施するとともに、県災害対策本部緊急対策チーム員を対象とした図上訓練を実施する。

(2) 事業内容

広域災害発生を想定し、県、市町村、防災関係機関が連携した災害対策本部運営訓練を実施する。

また、専門業者に委託し、県災害対策本部緊急対策チーム員を対象とした実践的な図上訓練を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方
県事業のため県負担

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	90	訓練連携市町村等との打合せ
需用費	228	事務費、訓練用資機材費、燃料費
役務費	43	通信運搬費
委託料	3,980	物資搬送訓練会場設営委託、図上訓練業務委託
合計	4,341	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内での大規模災害を想定し、住民、市町村、関係機関等と連携した防災訓練や、実践的な図上訓練を実施することで、災害対応要員の識能の向上、関係機関との連携強化を図り、本県の災害対応力の強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

県内で発生が懸念される災害や防災施策に応じた訓練を毎年実施しており、訓練の内容や開催場所が毎年違うことから、指標を定量的に設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p><取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県総合防災訓練 令和4年9月4日 7:30～12:00 緊急対策チーム図上訓練 令和5年1月18日 10:00～15:30 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 災害対応要員の能力を高めるとともに、県警察、市町村、自衛隊等の関係機関との連携強化を図ることができた。 <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和5年度	<p><取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県総合防災訓練 令和5年8月19日 7:30～12:00 緊急対策チーム図上訓練 令和5年10月24日 10:00～15:30 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 災害対応要員の能力を高めるとともに、県警察、市町村、自衛隊等の関係機関との連携強化を図ることができた。 <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和6年度	<p><取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県総合防災訓練 令和6年11月19日 7:00～12:00 緊急対策チーム図上訓練 令和6年10月21日 10:30～15:30 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 災害対応要員の能力を高めるとともに、県警察、市町村、自衛隊等の関係機関との連携強化を図ることができた。 <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	自然災害が頻発化、激甚化、局地化するとともに、南海トラフ地震や県内活断層による地震の発生が懸念される中、災害対応要員の識能の向上や関係機関との連携強化を図り、防災力の向上につなげていくため、事業の必要性は増している。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	災害対応要員の識能を高めるとともに、県警察、市町村、自衛隊等の関係機関との連携強化を図ることができている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	県庁での災害対策本部運営訓練のみならず、市町村・警察・自衛隊・ライフライン事業者等との連携訓練など、実践的・効果的な訓練を実施している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 防災訓練を繰り返し実施することで、防災上の弱点や課題を検証し、継続的に各種計画やマニュアルを検証・修正していく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 防災対策に終わりはないことから、関係機関との連携確認や県の体制の検証も行う実践的な防災訓練を実施することで、県の災害対応力を更に高めていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	